

## 三好丘中学校区人権教育総合推進地域事業だより

—三好丘中・三好丘小・黒笹小—

# スクラム

三好丘中学校区人権教育推進委員会

平成30年4月20日 No.1

## 人権教育総合推進地域事業について

三好丘中学校区の小中学校（三好丘小学校、黒笹小学校、三好丘中学校）は、平成28年度から文部科学省から人権教育総合推進地域事業の研究指定を受けています。「人権教育」と聞くと、何となく難しく感じます。三好丘中学校区は、「自分の大切さと共に他の人の大切さを認める」ことをキーワードとし、笑顔があふれる地域づくりを目指して人権教育を行っています。

昨年度は、あいさつ運動に多くの保護者や校区委員様のご協力をいただきました。「自分の大切さと共に他の人の大切さを認めること」ができる地域に向けてご協力をお願いします。



【 三好ヶ丘駅前あいさつ運動の様子 】

## あいさつ運動と人権

あいさつと人権教育がどう結びつくのかというご質問をよく伺います。あいさつは相手の存在を認めるとともに自分の心をひらくという意義があります。目の前に人がいるのに声をかけないということは、そこに居る人の存在を自分の中で消しているとも言えます。あいさつをすることで存在を認め、またあいさつを返すことで互いの心の窓が開かれつながり合うことができます。つまり、あいさつは、自分の大切さと共に他の人の大切さを認める第一歩です。誰もが大切な存在だという雰囲気が広がると笑顔があふれてくるような気がしませんか？



4月11日（水）に避難訓練を行いました。校長の指示のもと、全職員、全生徒が速やかに、かつ、冷静に行動しました。

校長からの講評では、地震が起こったときに最初に何をすべきか、という話がありました。この質問をされた生徒から、「スリッパを履く」という意見も出てきました。校長はその意見を採り上げ、なぜスリッパを履くことが命を守ることににつながるか話しました。



【 教室から避難する様子 】

避難する際にガラス片やがれきが床に落ちており、それを素足で踏むとケガをして、避難が遅れてしまうということにつながるからです。本校の校舎は開かれた作りになっており、廊下や教室がガラス張りになっているところが多くあります。たかがスリッパ、されどスリッパ。どこにいても安全に、素早く、冷静に避難できるよう、いろいろな視点で命を守る方法を考えることが大切だと実感する話でした。



【 安全に避難する様子 】



【 校長先生の講話の様子 】

いつ震災が襲いかかってくるか分かりません。「命」は何よりも大切なものです。真剣に訓練に取り組むことで、自分の命の大切さや他の人の命の大切さを考える良い機会となりました。

（研究主任：林 勝也）



### 「丘小人権かるた100」でみんな笑顔

平成29年度の取組の一つとして、全校児童による「丘小人権かるた100」の作成について紹介します。

「丘小人権かるた100」とは、子どもたちが、思いやりの心を持ち、互いに尊重し合い、笑顔あふれる生活が送れることを願って作成したものです。

まず、全校児童がかるたの文を考えました。そして、その中から人権委員会の話し合いにより100枚にしぼり、そのかるたの文にどんな思いを込めて書いたのかも付け加えました。次は、絵札の作成です。選ばれた100枚のかるたの文に合わせてイラストを描く人を募集しました。25枚は文を書いた本人がイラストを描きましたが、残りの75枚は絵の得意な子たちの活躍の場となりました。こうして、全校児童の手による「丘小人権かるた100」ができあがりました。12月の人権集会では、文を考えた各クラスの代表者が、それぞれの文とその思いを発表しました。

子どもたちの思いの詰まった「丘小人権かるた100」。完成したかるたで早速楽しく遊びました。かるた遊びを通して、もっともっと笑顔が広まっていくことを期待しています。(環境づくり部 大野 愛未)

<作品例>

1年生 お友達 心をつなぐ 手をつなぐ

2年生 命はね みんなもってる 宝物

3年生 広めよう 自分がされたら うれしいこと

4年生 思いやり みんなを助ける 魔法の薬

5年生 世界中 同じ仲間だ どの子もね

6年生 たくさんの 笑顔の花が 咲く丘小



【 人権かるたで遊んでいる様子 】



【 丘小人権かるた100の絵札 】



新年度を迎え、子どもたちは元気に進級しました。登校は、それぞれの地域の子子どもたちが、近くの友だちと班をつくって歩いてきます。上級生が班長、副班長となり、班員をまとめます。車が走る一般道路の歩道を歩くので、危険も伴います。班長や副班長、そして上級生の子どもの役割や責任はとても重要です。そんな班長や副班長は下級生の憧れの的。優しさと共に毅然とした態度で班員を見守り、時には下級生に注意を促しながら、安全第一で班員をまとめています。

その登校にピカピカの新入生が加わりました。登校時の集合場所をのぞいてみると、4年生の子どもが一番に来ていました。しばらくすると、上級生が集まってきて、新入生の子も登場。自然と上級生の子たちが手招きして仲良くお話が始まりました。全員そろって出発すると、新入生の手を引いて歩き始めました。真新しいランドセル、通学ぼうしにちょっと重たそうな水筒を首から下げ、「おはようございます」という元気のよいあいさつとともに校門をくぐってきます。毎日の登校は、上級生の何気ない優しさと、安全第一を意識した責任感に支えられているんだな、と感じます。地域の皆さまには、あたたかい目で黄色い帽子で登下校する子どもたちを見守っていただきますよう、よろしく願いいたします。

(通学団担当 大島 弘之)



【 集合場所にて…小学生になったんだ！ 】



【 学校到着…上級生、ありがとう！ 】